

## 平成 30 年度 第 2 回 学校運営協議会の報告

平成 30 年 10 月 23 日(火)14 時 50 分より、平成 30 年度第 2 回学校運営協議会を開催しました。

議事に先立って授業観察を行い、委員の方からは「電子黒板の活用、ペアワークの実施など視覚的にわかりやすく、生徒が笑顔で学んでいる様子がよかった。」「講義形式に比べ、聴く力・考える力が衰えないかとの懸念もあるが、それは授業の形態ではなく社会の変化であり、生徒たちは真剣に学習している。」「教員が生徒と双方向型の授業で、とても活発に授業をしていると感じた。」など、好印象の感想をいただきました。

続いて、各分掌・係から次の 3 点について説明、報告をしました。

- ① 平成 30 年度学校経営計画進捗状況について
- ② 平成 30 年度授業アンケート（第 1 回）結果について
- ③ 学校教育自己診断結果の中間報告

これらの報告に対して協議に入り、委員の皆様から以下のご提言やご意見をいただきました。

### ○授業アンケートについて

- ・非常によいアンケート結果である。
- ・授業アンケートの結果は各教員に伝わっているか。

### ○保護者（音楽科）の立場から

- ・音楽科生徒による校内演奏会（ピッコロコンチェルティスタ）について、演奏会の回数を増やしたり、生徒個人の演奏時間を長くしたりすることはできないか。

### ○生徒指導について

- ・遅刻総数が現段階で昨年よりやや増との報告だったが、歯止め策として何か考えているのか。

### ○進路指導について

- ・音楽科の進路状況は資料①(学校経営計画進捗状況)の 1(進路希望実現)の項目に含まれているのか。4(国内最高の音楽教育)の項目の中に載せる方がいいのではないか。

### ○その他

- ・1 年生（73 期生）が入学直後の春先に比べ、「夕陽生らしく」なってきた。授業の様子からもしっかりと考えて行動する「自主・自律」が育成されているように感じた。

以上の提言やご意見に対して、学校から以下の説明をしました。

- 授業アンケートの結果は各教員に数値だけでなく、生徒からのコメントも含め伝え、授業改善に生かしている。参考となる主な意見は教職員全体で共有している。
- 音楽科について、受験生は課題曲等を弾き合う会、3 年生の演奏会を設定している。個人の演奏時間についても、多くの生徒に演奏機会があるように配慮した結果である。
- 遅刻理由の多くは'体調不良'や'気持ちの浮き沈み'に関わるものである。特に今年は 8 月後半の遅刻数が昨年より増加しており、長期休業後や学校行事後の遅刻が多い。単に、怠けととらえるより、自己理解や自分との向き合い方を確認させるような多面的なアプローチが必要だと考えている。また、各学年で朝学とコラボするなど、学年全体で遅刻減少に取り組んでいる。
- 1～3 の項目は、夕陽丘全体の重点目標・取り組み項目であり、音楽科の進学実績も 1 に含んでいる。4 の項目では、音楽科に特定した進路希望実現を掲げていないので載せていない。
- 今年度から新たな取り組みとして導入した 73 期生による「Classi」の使用方法、生徒の使用状況等、また、災害時の教員の緊急連絡用ツールとしての使用状況を実際に映像で観ていただいた。

最後に、次回第 3 回学校運営協議会（1/31 15:30）の連絡と挨拶の後、閉会となりました。